

令和5年度第1回 埼玉県川越比企地域保健医療協議会 議事録

令和5年12月15日（金）18:30～19:20

ハイブリッド（会場・オンライン）開催

開会、会議の成立の確認（33名中32名の委員の出席（代理出席を含む））、令和5年度新任委員の氏名紹介、委員の出席状況の確認、埼玉県坂戸保健所長からの挨拶の後、丸山会長が議長として議事を進めた。

なお、会議は公開となり、傍聴（2名）については許可された。

1 議題等

（1）圏域別取組（第7次計画）の令和4年度実績について

（議長） それでは議事に入ります。まず、（1）圏域別取組（第7次計画）の令和4年度実績について、事務局から説明をお願いいたします。

- ・ 坂戸保健所 福田副所長が配布資料（資料1-1・1-2）に基づき説明した。

（議長） はい、ありがとうございます。ただいまの説明について何かご質問、ご意見はございませんか。ご意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。

（意見等なし）

(議長) 特にないようですので、私の方からちょっと質問させていただきます。

我々の方としまして一番大事なのが特定検診の受診率でございます。この表(資料 1-2)を見させていただきますと、東秩父村と鳩山町が 40%後半から 50%で、他の地区は大体 30%後半。非常に乖離があるわけですが、東秩父村の地域で特定検診は何か月実施されているのか、鳩山町では何か月実施されているか、そしてその受診率の高めるための取組について教えていただければと思うんですが、もしそれがわかる方いらっしゃれば、ちょっと教えていただけますでしょうか。

両町村ともこの会議に入っていない(委員になっていない)ようなので、とにかく、大体半年ぐらいしか受診の機会がございませんので、国の目標で 40、50%するためには、もう少し受診率を向上のために何か対策をとっていただかないといけない。30%では全くやっている意味がない。

特定検診が始まる 12 年前とほぼ変わってないような状態でございますので、その辺ちょっと検討いただければと思います。

3 議題等

(2) 第 8 次計画の骨子案及び指標案について

(議長) 続きまして第 8 期計画の骨子案及び指標案について、埼玉県保健医療政策課から説明をお願いいたします。

- ・ 保健医療政策課 青木主査が配布資料(資料 2)に基づき説明した。

(議長) どうもご説明ありがとうございます。ただいまのご説明について何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

(意見等なし)

(議長) これも皆さんからは特にはないようですね。

それでは一つだけ、現場からちょっとご質問させていただきたいんですけども、今、医療従事者の人手不足というのは非常に問題になっておりまして、医療機関もしかり。その中でも、介護に関わる人材不足が特に顕著でございます。

この中で、訪問看護ステーションに従事する(資料2の)6ページ目ですね、第2章、3119人を令和8年度まで4000人(にする計画)、果たしてこれで足りるのか、もしくは、これでこの通りでくるのか(この目標のままとするのか)。その辺、特に看護学校の補助金に関しても、一律0.9ですとか、補助金がちょっと減らされておる現状で果たしてこういった計画が本当に実現するのかどうか、もう1回ご説明お願いできますでしょうか。

(保健医療政策課 利根川主査) 丸山会長、ありがとうございます。県庁の保健医療政策課 利根川と申します。ご説明いたします。

まず、今回在宅医療のところ課題提起をいただいたもの、また、特に介護人材の確保について課題があるなというふうに指摘をいただきまして、ありがとうございます。

今回在宅医療の指標としましては、先ほど丸山会長にご紹介いただきました

が、四つ指標としては定めてございます。

一つは訪問診療にご協力くださる医療機関の数。もう一つが訪問看護ステーションに従事する訪問看護職員の増加。もう一つが地域連携薬局の増加、そして在宅歯科の登録医療機関数の増加、この4本でございます。

この指標については、医療人材課ですとか、薬局ですと薬務課、こちらの所管になりますが、それぞれ細かい事業を進めてまいるということで、達成に向けて尽力していきたいと考えてございますが、先ほどご指摘いただいた看護学校の補助金の話、実は他の圏域でも、医師会の先生方から課題提起をいただいているところでございます。

具体には、例えば定員割れが起きていたり、そういったことでちょっと運営が難しくなっている、こういったものにどうにかならないか、というなことでご示唆をいただいているところでございます。

医療人材課にもこの話はいただいた翌日に相談をしたんですが、やはり、なり手のところを少しカバーしたいということで、少し汗かき事業、お金を使う事業ではないんですけども、中学生などの方に看護の体験をしていただいて、看護に興味を持ってもらう瞬間を作っていこうということで、地道な取組ではございますが、少しでも医療の分野に興味を持ってもらえたらというような事業も行っております。

今回、この後ご紹介をさせていただきますが、圏域別の取組として、人材についてはやはり地域でも非常に課題が大きいというふうに伺っております。

したがいまして、地域の皆さんでご相談をいただきまして、その取組を入れていただくということも、次の課題で、ご検討いただければ幸いかなと考えてございます。

ちょっと直接のお答えになっていないところ大変恐縮でございますが、ぜひご議論いただければと思います。

ありがとうございます。

(議長) どうもありがとうございます。

連携をしっかりとって、行政と各看護学校、指定医療機関と連携をとって、人材確保にはこれからも皆さんのご協力が必要です。特に行政のご協力は非常に大事なので、よろしく願いいたします。

3 議題等

(3) 圏域別取組（第8次計画）の策定について

(議長) それでは、議事の(3)です。圏域別取組（第8次計画）の策定について、埼玉県保健医療政策課から説明をお願いいたします。

- ・ 保健医療政策課 青木主査が配布資料（資料3）に基づき説明した。

(議長) ご説明ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明に対して何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

(意見等なし)

(議長) ご質問がないようですので、これで議事を終了いたします。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。これで事務局に進行をお返しいたします。

- ・ 事務局から、第2回協議会の開催予定（令和6年3月頃）を案内した上で、閉会を宣言した。